

患者の皆様へ

2017年5月19日 呼吸器外科

呼吸器外科では、進行肺癌に対する3つの術前導入療法に関する研究を全国の医療機関と合同で行っています。この研究では、進行肺癌に対し術前導入療法を施行し、診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

- ①縦隔リンパ節転移を有する IIIA 期非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としての Cisplatin(CDDP)+Pemetrexed(PEM)+Bevacizumab(BEV)併用療法もしくは、CDDP+PEM+ 同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術のランダム化比較第 II 相試験(PIT1)
- ②縦隔リンパ節転移を有する IIIA 期肺原発扁平上皮癌に対する術前導入療法としての CDDP+TS-1+同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術の第 II 相試験(PIT2)
- ③Superior sulcus tumor(SST)に対する術前導入療法としてのシスプラチン+ティーエスワン+同時胸部放射線照射 (66Gy) 後の手術の有効性検証試験(CRES³T)

2. 研究の意義・目的

進行肺癌に対しての術前治療の明確なエビデンスはありません。今回の全国試験により、術前導入療法による生存の延長への有用性を検討します。

3. 研究の方法

当院での進行肺癌に対し、導入療法を施行した患者さんの検査結果や病歴などの臨床情報を解析・検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し、データセンターである JORTEC および当科にて外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学病院呼吸器外科臨床研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 呼吸器外科 医師 吉野一郎(教授)、藤原大樹(助教)

043(222)7171 内線 5464